

平成22年度 第2回気仙沼 ESD/ユネスコスクール研修会

気仙沼市教育委員会

1 目的

気仙沼市内のユネスコスクールを核とする ESD の質的向上をめざし、国の施策や他地域のユネスコスクールの展開を踏まえながら、各校の実践を共有するとともに、専門的見地からの助言をもとに評価・検討を加え改善を図る。

2 日時 平成23年1月21日（金） 13:00～16:45

3 場所 気仙沼市総合市民福祉センター（やすらぎ）

4 主催 気仙沼市教育委員会 気仙沼 ESD/RCE 推進委員会

5 共催 宮城教育大学 東北大学大学院環境科学研究科、
仙台広域圏 ESD・RCE 運営委員会

6 後援 日本ユネスコ国内委員会（予定）
ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）（予定）

7 対象 気仙沼市立小中学校教員，市内外ユネスコスクール加盟校教員，
仙台広域圏 ESD・RCE 関係者 他

8 日程及びプログラム

(1) 開会行事 13:00～13:15（ホール）

- ①開会のあいさつ 気仙沼市教育委員会 教育長 白幡勝美
ASPUivNet 代表（宮城教育大学副学長）見上一幸
- ②祝辞 気仙沼市長 菅原 茂
- ③講師紹介（講演者，助言者）
- ④日程説明・諸連絡

(2) 講演（全体会） 13:20～14:20（ホール）

講演Ⅰ「国内の ESD とユネスコスクールの展開」（30分）

文部科学省国際統括官付 企画係長 吉田 徹 氏

講演Ⅱ「ユネスコスクールの優良事例と海外との交流事業」（30分）

ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）事業部 次長 柴尾智子 氏

<休憩・移動（10分）>

(3) アプローチ別セッション（分科会） 14:30～15:50（各会場）

- 市内各校の ESD の実践の成果と課題を中心とした事例発表（担当者）
- 参加者による実践の共有と改善のための討論
- 専門家（助言者）からの各校の実践への助言と評価

【分科会のアプローチ】（4アプローチ5分科会）

- ①生物多様性（生態系）A 助言者：島野智之 准教授（宮教大）
- ②生物多様性（生態系）B 棟方有宗 准教授（宮教大）
溝田浩二 准教授（宮教大）
- ③エネルギー，防災，気候変動，都市計画 浅沼 宏 准教授（東北大）
- ④食・産業（農・水産等），福祉，キャリア 小金澤孝昭 教授（宮教大）
- ⑤多文化共生（国際理解，伝統文化，地域遺産）市瀬智紀 教授（宮教大）

※コーディネーターは助言者が行う。

<休憩・移動（10分）>

(4) 各アプローチからの提言（パネル） 16:00～16:35（ホール）

- アプローチ別セッションの発表と討論を踏まえ，助言者が ESD/ユネスコ スクール の取組の質的向上のための提言をおこない，参加者で共有する。

【提言者】 小金澤，市瀬，浅沼，島野，棟方 溝田 各助言者

（○はモデレーター，各提言者5分以内で発言）

(5) 総括（5分） 小金澤教授 16:35（ホール）

(6) 閉会のあいさつ 16:40（ホール）

気仙沼 ESD/RCE 推進委員会 委員長 阿部弘康

(7) 閉会 16:45

9 その他

- 市内各小中学校から管理職，担当者，担任から各1名の3名程度（小規模校2名程度）の参加とする。
- 各校は，資料として実践の成果と課題を記入したシートを事前に提出する。
- 発表者（担当者）は，自校の ESD のアプローチに沿うセッションに所属する。場合によっては，実践内容に応じて事務局が所属を調整する。